

2023 夏休みおすすめ本 3・4年

『月へ行きたい』 2-538 マ 福音館書店

まつおか とおる
松岡 徹 / 文・絵

月へ行くなら、どんな方法で行きたい？月は思ったよりずーっと遠い。小学生が3億人つながってようやくたどりつく。はしごなら60年くらい、新幹線なら55日くらいのきよりだ。ひこうきならもっと速いけれど、ひこうきでは月に行けない。地球から月に行くにはだいじな条件があり、その条件をみだすのりものは、今のところロケットしかない。でも月に行く方法は、本当にロケットだけなのかな？

『車のいろは空のいろ 1~4』 913 ア ポプラ社

あまん きみこ / 作 黒井 健 / 絵

空いろのタクシーにのっているのは、タクシーの運転手の松井さん。タクシーには、今日もふしぎなお客さんがやってきます。「白いぼうし」には8つのおはなしが収録されています。どのおはなしも松井さんの心やさしい一面が感じられます。長く読みつがれる心あたたまるファンタジーです。

『和ろうそくは、つなぐ』 576 オ アリス館

おおにし のぶお
大西 暢夫 / 著

炎がふしぎな動きをする和ろうそく。昔から伝えられてきた技術で、ひとつずつ手づくりしています。材料は職人さんから職人さんへと引きつがれ、すてるものは何もありません。和ろうそくの技術とともに、モノを大切に作る心も受けつがれていきます。

『それいけズッコケ三人組』 913 ナ ポプラ社

なす まさと
那須 正幹 / 作 前川 かずお / 絵

小学生に人気のズッコケ三人組シリーズ！花山第二小学校6年1組のハチベエ、ハカセ、モーちゃんの三人組が大活躍します。それぞれちがった個性をもつ3人は、どのようにして仲良くなり「ズッコケ三人組」が結成されたのかがわかる第一弾。三人組がくり広げる、楽しくときにはハラハラするお話です。

『もしもまほうがつかえたら』 9E モ 富山房

ロバート・グレイブス / 文 モーリス・センダック / 画 原もと子 / 訳

おじさんとおばさんと大きな犬と一緒にすむジャックは、ある日、やねうらべやで大きなみどりいろの本を見つけました。その本には、まほうのおまじないがいっぱい書いてありました。さっそく、まほうを使っておじいさんに変身し、次々にまほうをためします。おじさんたちをからかい、楽しむジャックでしたが…。

『クローバーと魔法動物 1~3』 933 ジ 童心社

ケイリー・ジョージ / 作 久保 陽子 / 訳 スカイエマ / 絵

クローバーは、運の悪い女の子。なにかとついていないクローバーは夏休みの間「魔法動物紹介所」で働くことになりました。ユニコーンやペガサスたちと楽しく過ごしますが、魔法動物を狙う悪い魔女があらわれて…!?魔法や魔女、冒険が好きなあなたにぴったりの物語です。

『ぼくは、チューズデー』 4E ポ ほるぷ出版

ルイス・カルロス・モンタルバン / 文 プレット・ウィッター / 共著 おびかゆうこ / 訳

みなさんは、介助犬のことを知っていますか？チューズデーは、ルイスを助ける介助犬。せんそうで大けがをして、ひとりで生活することがむずかしくなってしまったルイスの手助けをしています。ルイスは、チューズデーのおかげで、もう一度がんばろうと思えたのです。チューズデーのように、人のパートナーとして、たくさんの人たちに勇気や希望をあたえてくれる「介助犬」ですが、まだ日本ではあまり知られていません。



小川町立図書館